

Dai.Com Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [ダイコンプレス] コロナ特別号

Vol.
29
2021

東京農業大学第二高等学校

祝 陸上競技部 全国駅伝大会出場

祝 全国大会出場 吹奏楽部

祝 世界新記録 13試合連続盗塁
ソフトバンクホークス [50期生] 周東佑京 選手

祝 日本高校新記録樹立 陸上男子5000m
16年ぶり更新 石田 洸介

祝 日本陸上競技選手権大会出場 男子500m 石田 洸介
男子100m 柳田 大輝

祝 2020 全国高等学校陸上競技大会 S3000m 優勝分須 尊紀

速報

20期生の江口文陽さんが
東京農業大学の次期学長に決定！

東京大学 2名現役合格！
(文三、理一：令和3年度)

東京農業大学 次期学長決定 おめでとうございます



江口 文陽 教授 (20 期生)

[東京農業大学研究者紹介プロフィールより抜粋]

1965年群馬県生まれ、東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士(林学)、2012年東京農業大学教授、同大大学院指導教授。2016年「食と農」の博物館長。2019年学校法人東京農業大学評議員。2020年地域環境科学部森林総合科学科長。

江口文陽教授は、27歳で東京農業大学からさのこ育種(新品種開発)技術で博士の学位を授与される。大学の教員になりたい希望が強く公設試験場や民間企業の内定先には就職せず、日本学術振興会特別研究員などを経て33歳までは小学校・中学校・高等学校・進学予備校・専門学校・短大・大学・大学院の非常勤講師で生活、特に30歳からの3年間は9時～21時半まで非常勤講師(1コマ90分や50分などの講義を週30コマ担当)、22時から夜中2時まで実験、3時から6時までの3時間睡眠…生活の先が見えないつらい時間を過ごした。

33歳までの流しの研究者の時代(32歳の時フリーターのような状態で結婚)、33歳で高崎健康福祉大学に採用され助教授、36歳で教授になるなどの激動の人生を送った。研究・教育活動、国内外の各大学の実態を見て現在に至っている。大学人とはいかなるものかといった強い信念“哲学”を持っている。

そのような経験を持つ、江口文陽教授が東京農業大学を牽引することを期待しています。

20 期同級生よりお祝いの言葉

中村 智子 (20 期生) 森・濱田松本法律事務所

この度は、東京農業大学次期学長決定、心よりお慶び申し上げます。

最近のご活躍、マスコミへのご出演、今までのご研究、学生の方への熱心な指導など、日々積み重ねてこられたご成果が実を結ばれたこと、農大二高の同期としてとても誇りに思います。

在学当時とても真面目に勉学に励まれておられた記憶がございますが、農大二高を卒業されて後研鑽を重ねられ、同窓会などでお会いする度に人間的にもとても魅力あるお人柄となっておられたので、この度の次期学長決定のお話を伺った時はとても納得がきました。今後の益々のご活躍をお祈りしております。

